

【プログラム11：悩み熟議 ～親の立場で考えてみよう～】

☆ねらい：保護者のもつ悩みに答える活動を通して、保護者の思いを理解しようとする気持ちをもつとともに、よりよい親子のかかわ方を考える。

《プログラムの概要》

| | |
|---------------------|--|
| キーワードの例 | 親子関係 |
| 時 間 | 50分 |
| 人 数 | 12人以上（9人でもできる） |
| 活動形態 | グループ（1グループは4人がよいが、9人の場合は1グループは3人になる） |
| 準備物 | 悩みリスト（人数分）、ストップウォッチ（進行用1個）、机上札（A B C D）→それぞれグループ数 |
| 主な活動 | ①「悩みリスト」をもとに、相談者になったりアドバイザーになったりする。 ②グループ替えをし、「悩みリスト」をもとに、相談者になったりアドバイザーになったりする。 ③保護者とのかかわり方を考える。 ④話題になったことを紹介する。 |
| 気を付けること | ○「悩み」リストは、学校の実態に応じたものを用いるとより効果的である。しかし、個人が特定できる悩みは用いないようにする。 |
| 備 考 （アレンジ等） | ○話の聞き方については、プログラムNo.6：「ベストリスナー～聞き上手で広がる我・輪・和～」と、関連を図ると効果的である。 |
| ステップ（中高生 期）編との関連 | No.22：聞いて、聞いて、わたしの悩み～子どもの異性とのつきあい方～ |

【プログラム11：悩み熟議～親の立場で考えてみよう～】

| 時間 | 形態 | 講座の流れ |
|-----|------|---|
| 1分 | 全体 | 1. ねらいを確認する。 【1分】 [キーワード] ○親子関係 |
| 47分 | 全体 | 2. 「悩みリスト」をもとに相談者になったりアドバイザーになったりする。 【25分】 (1) 方法を知る。 <2分> ①進行役が相談者Aを紹介する。 ②Aの相談に対して、B, C, Dは一人ずつ悩み解決に向けたアドバイスを1分程度話す。(相談者1分+1分×3人+予備) = 5分 ③進行役が相談者Bを紹介する。 ④Bの相談に対して、C, D, Aは一人ずつ悩み解決に向けたアドバイスを1分程度話す。(相談者1分+1分×3人+予備) = 5分 ⑤このように、C, DもA, Bと同じように行う。 (2) 聞くときの配慮事項を確認する。 <1分> ・相手を見てうなずきながら聴くなど、聴き方を工夫する。 (3) グループ内でやってみる。 <22分> |
| | グループ | 3. グループ替えを行う。(同じ机上札の人で集まる。) 【1分】 |
| | グループ | 4. アドバイスされたことを紹介しあう。 【6分】 |
| | 全体 | 5. 保護者に自分の考えや行動・気持ちをわかってもらうためには、どのようなかわり方をすればいいかを考える 【10分】 |
| | | 6. グループの代表が、特に印象に残った意見を紹介する。 【5分】 |
| 2分 | 全体 | 7. まとめ 【2分】 保護者は子どもが何歳になってもいつも心配している。このことをしっかり認識することが大事だ。 高校生になり、生活・行動範囲がこれまでより広がり、保護者の知らない部分(友達のことや学校生活等)が増えている。異性との関わりについては特に心配する現状がある。出会い系サイトでの被害や10代の人工妊娠中絶率や性感染症罹患率等などがある。 保護者が子どもを、子どもが保護者を、お互いに信頼し認め合う関係をつくるには、日頃からのコミュニケーションを大事にすることが必要だ。 |

【親になったときに考えてもらいたいこと】

- ・「親子の絆」は子どもがいくつになっても大事にしたいことだ。日頃から、「頑張った」「よかった」「ありがとう」と子どもを認め、ほめ、励ますことと同時に、「ダメなことはダメ」とはっきり子どもに言うことが大事。また、子どものことを話せる親同士のつながりをもってほしい。

【悩み熟議～親の立場で考えてみよう！】

◇悩みリスト

《相談者A》（高校1年生の男子をもつ父）

携帯電話を持たせるときに、「自分の携帯代は自分で払うように・・・。」と、子どもと約束をした。そのためアルバイトを始めたのだが、帰宅時間は遅いし、ごはんを食べているときでも携帯電話を離さない。変なサイトを使っているようではないが、携帯代も月2万円ぐらいかかっている。最近、だんだんとおしゃれや異性に関心をもっているようだし、いつ変なサイトを利用するかもわからない。携帯代を払う約束で始めたバイトだが、このまま続けさせていいか悩んでいる。

《相談者B》（高校2年生の女子をもつ母）

高校生になっておつきあいしている彼がいるらしく、服装や体型をととても気にするようになった。相手がどんな人なのか聞いても教えてくれない。あるとき、娘が親密に肩を寄せ合っている写真を偶然に見てしまったが、見なかったことにし、何も言わなかった。同じ頃、娘が、「友だちのところに泊まりに行きたい」と言った。とりあえず思いつくままの理由で外泊はさせなかったが、彼とのつきあい方がどんどんエスカレートするのではないかと心配している。

《相談者C》（中学2年生の女子をもつ母）

子どもの進路のことで悩んでいる。子どもは小さい子が好きで、近所の子や親戚の子などよくかわいがっている。それはいいことだと思うが、娘は、「高校は行ってもいいけど、早く自分の子どもがほしい。『友だち親子』をしたい。」と言う。交友関係は広く、男女を問わず友だちと遊んでいる。学習は今までとあまりかわらずやっているようで、特に変わったことはないと思う。進路選択はまだ先のことだが、もっと現実的な進路を考えてほしいと思っている。こんなとき子どもにどんな話をすればいいのか教えてほしい。

《相談者D》（中学2年生の男子をもつ母）

この前息子の部屋を片づけていたら、グラビア雑誌が出てきた。最近、好きな女の子がいるらしく、よく部屋で携帯電話でしゃべっている。何を話しているのかわからず、気になっている。眉を整えたりおしゃれに興味をもったりしている。これも子どもの成長過程の1つだと思うが、グラビア雑誌を見てる子どもを思うと複雑な気持ちにもなり、どんな女の子とつきあっているのか、どんなつきあい方をしているのか、心配はつきない。どうするといいいのか教えてほしい。

《考えよう》

♪保護者に自分の考えや行動・気持ちをわかってもらうためには、どのようなかわり方をすればいいだろう。

★親に望むこと

★自分の行動